

和歌山市中心市街地活性化基本計画（改訂版）策定のための市民ワークショップ 第3回（6月30日）開催記録

第3回目の「和歌山市中心市街地活性化基本計画（改訂版）策定のための市民ワークショップ」が、6月30日（水）午後6時30分より、和歌山市勤労者総合センター6階文化ホールで開催されました。

前回（6月16日）の議題である「現状の課題の把握」を受けて、今回は、「問題・原因解決案」を議題に4つのグループがそれぞれのグループテーマに沿って討議・検討を行いました。

グループ討議(ワーキング2)

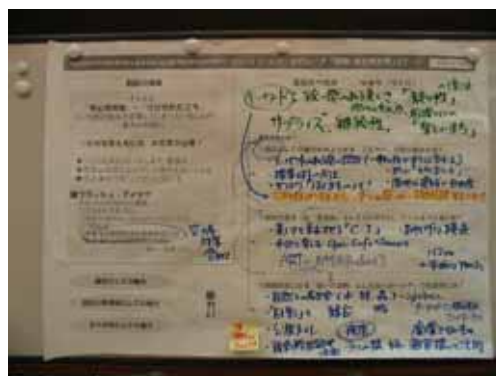
前回のグループ討議で検討した現状の課題を踏まえて、その問題や原因の解決案について、A～Dそれぞれのグループテーマに沿って討議を行いました。

- ・ Aグループ「個店の魅力で人を惹きつけるまち」
- ・ Bグループ「お気に入りの風景やスポットのあるまち」
- ・ Cグループ「長い時間ゆっくり過ごせるまち」
- ・ Dグループ「高齢になっても生き生きと暮らせるまち」

今回は、アドバイザー役の15人のワーキング協働スタッフ（TMO・県・市職員）も4グループに分かれて入り、討議に参加して市民メンバーからの質問に答えつつ意見を述べるという形でワーキングを進めました。市民メンバーにとってはグループ討議が2回目ということもあり、積極的に意見が出され、活発な討議が行われました。



討議終了後、各グループの代表者が、自分たちの検討結果のまとめを発表しました。それぞれのグループの検討結果は次のとおりです。



Aグループ

「個店の魅力で人を惹きつけるまち」賑わい性創出ワーキンググループ

今回の議題	「問題・原因解決案」	ファシリテータ 氏名	川崎 昌和
-------	------------	---------------	-------

(検討結果)

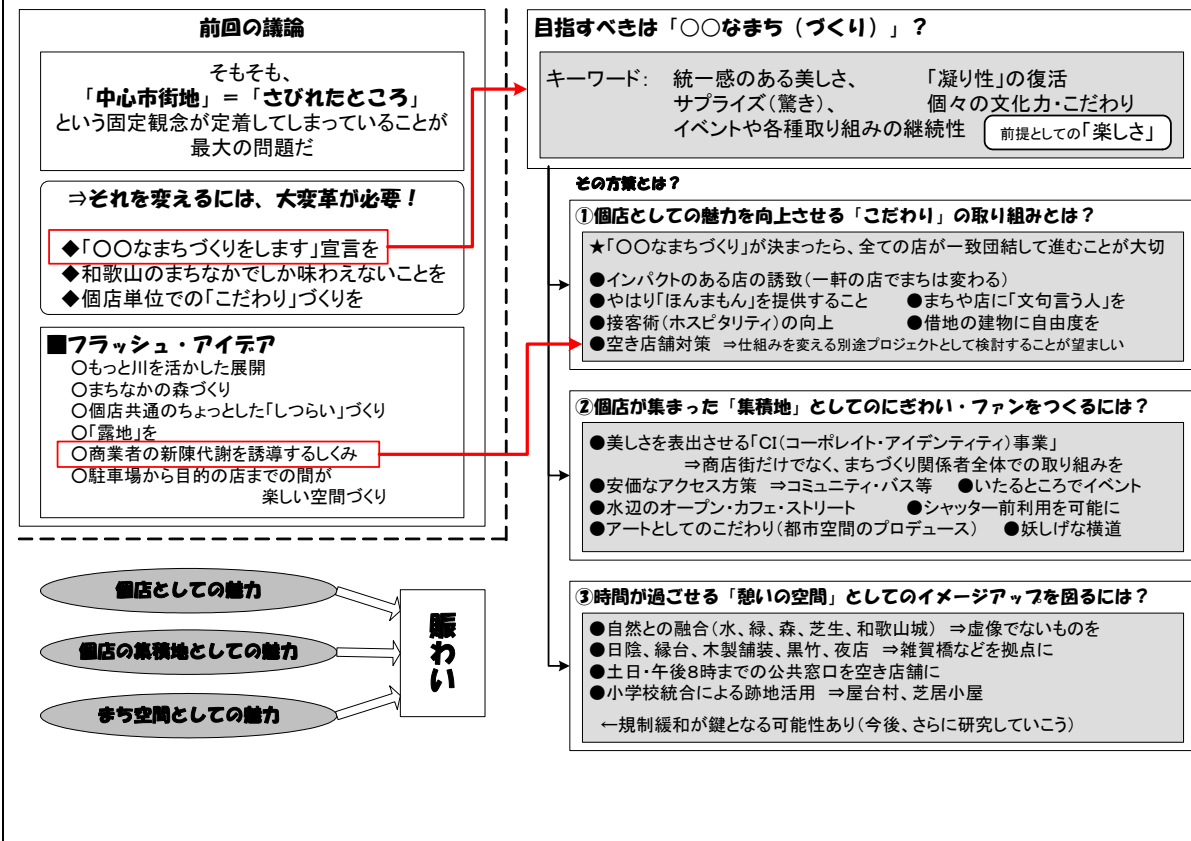
今回のテーマは「問題・原因解決策」ということで、前回議論した「**和歌山の中心市街地には、大変革が必要**」との考えを前提として、中心市街地に賑わいをもたらすための方策について考えていきました。

まず、皆が共感できるまちとしての理想像・コンセプト（方向性）について、キーワードを挙げていきました。その上で、その理想像を実現するための方策を、①個店としての魅力の向上策、②個店の集積地としての賑わいづくり方策、③憩いの空間としてのイメージアップ策、という3段階に分けて考えました。

やはり根本に関わる対策として、「**まちづくりの理想像・方向性を決めたらば、その方向性に沿った取り組みを商店街等が一致団結して実現していく**」ことが重要だという認識をメンバーで共有することができました。この、皆が共感できるまちづくりの方向性については、今後のワークショップの中でじっくりと「**美しいフリース**」を考えていきたいと思えます。

なお、Aグループは「個店の魅力」が大きなテーマであることを踏まえ、憩いの空間づくりといったテーマは他のグループでの検討に譲り、今後は「個店の魅力をいかにして向上していくのか」を重点的に検討していきます。

Aグループ 「問題・原因解決策」ステージ とりまとめ



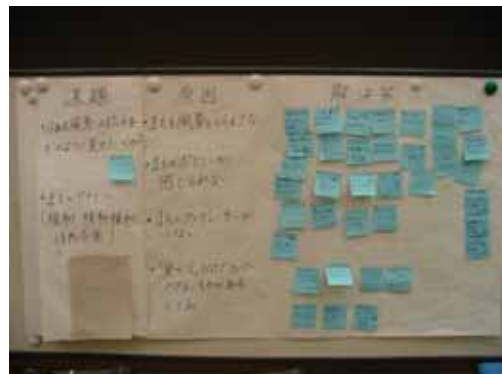
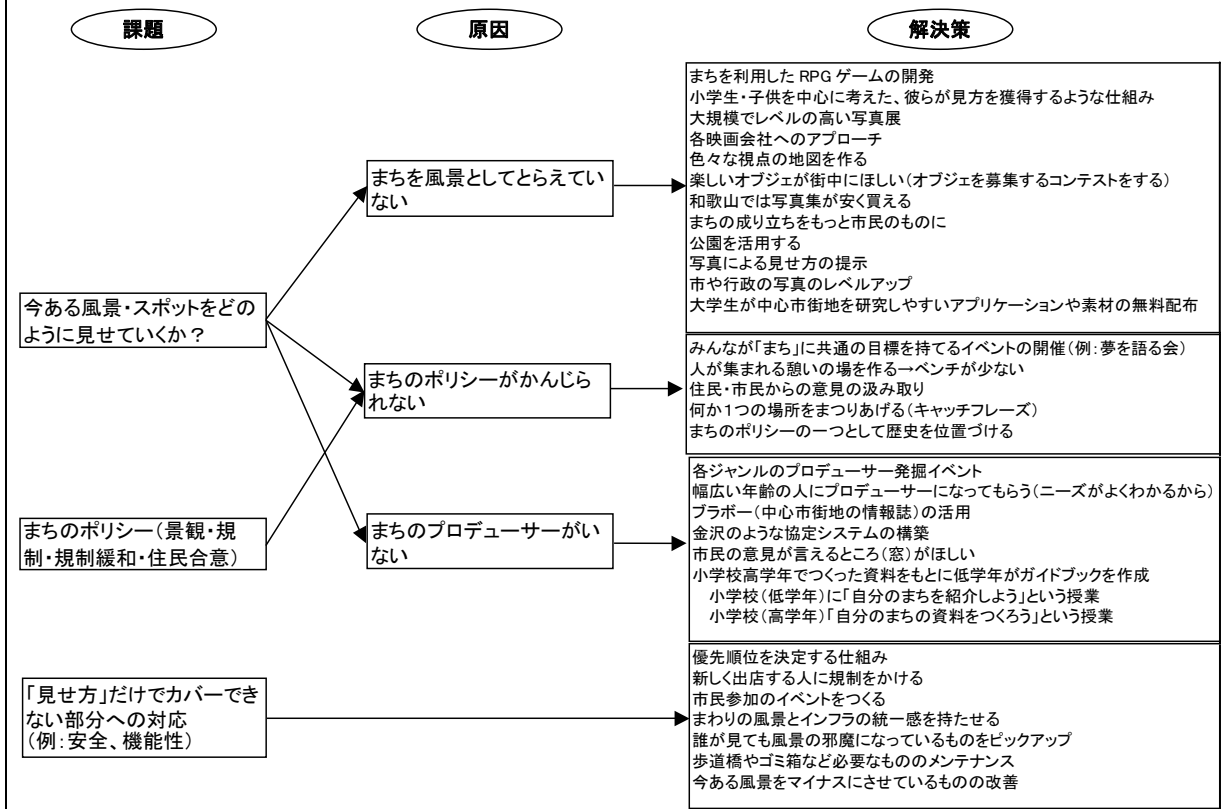
Bグループ
「お気に入りの風景やスポットのあるまち」 界索性創出ワーキンググループ

今回の議題	「問題・原因解決案」	ファシリテータ 氏名	西川 昇
-------	------------	---------------	------

(検討結果)

最初に、前回の「課題」と「原因」をもう一度確認しました。ハード設備は最低限しか手を加えないという点ではグループメンバーは合意しているのですが、そこで新たな「課題」として「景観や見ためを優先するあまりに安全性や機能が犠牲になってはいけない」、「原因」として「まちのプロデューサーがいない」という2点を追加しました。

以上のことをもとにして以下のような解決策を、次々と挙げていきました。



Cグループ

「長い時間ゆっくり過ごせるまち」回遊性・滞留性創出ワーキンググループ

今回の議題	「問題・原因解決案」	ファシリテータ 氏名	片桐 裕明
-------	------------	---------------	-------

(検討結果)

最初に前回の「現状と課題」の内容を次の3分類として確認し、解決案のイメージを膨らませる意味で、ファシリテータからサンタモニカの解決例を説明しました。

1. 交通の手段「時間を気にしないで使える駐車場がない。」
2. 快適な空間「ゆっくり休憩できる場所がない」
3. 個店の魅力「買い物～映画～食事という時間が過ごせない」

ワークショップにあたって、「どこが、どうなれば解決するか」を中心市街地の地図を見ながらに具体的な意見をメンバーに出していただき、それを地図に貼り付けるという方法で行いました。その成果は下図のとおりです。

次回までに、「この解決案を実現するために自分たちが何をすればよいのか、何が出来るのか」を考えてもらっておくこととしました。



魅力UPのため

○商業特区(1)

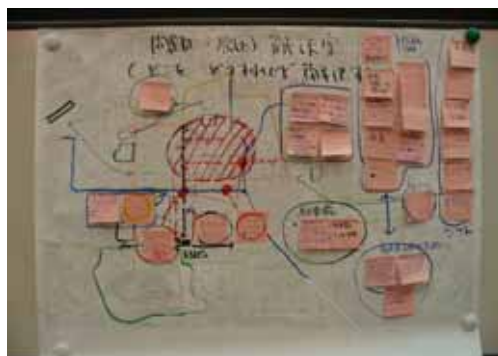
家賃・固定資産税、法人税等の負担ゼロの商業集積をつくる

○商業特区(2)

風営法の規制対象外、合法カジノの商業集積

○商業特区(3)

土地、建物の売買を活発にする為に相続税免除等の特例対応を行う



Dグループ

「高齢になっても生き生きと暮らせるまち」暮らし空間創出ワーキンググループ

今回の議題	「問題・原因解決案」	ファシリテータ 氏名	鳥淵 朋子
-------	------------	---------------	-------

(検討結果)

最初にメンバーから議論の方向性として「安心・便利・楽しい」というキーワードの提案があり、全員が合意し、対象は中心市街地に住んでいる人、ということで話し合いを始めました。また、前回出た高齢者の定義について議論の再燃があり、高齢者が住みやすいということは若い人でも住みやすいという意見を踏まえ、あえて高齢者の年齢層等の限定をせずに、いかに魅力あるまちづくりをするかが重要だということで議論を進めることになりました。

作業としては、前回のラベルの内容を「安心」「便利」「楽しい」に3分類することにより課題を整理し、今回再確認した要素を加え、「課題」と「解決策」をセットでラベルに記入しました。

次回は今回出たラベルを配置分析することにより、「こんな街なら住みたい」と思える中心市街地像についてメンバー間で合意形成し、市民、行政、TMOのそれぞれの役割を模索していきます。

【 問題・原因解決策 】 ラベルワーク

高齢になっても生き生き暮らせるまち

キーワード <安心> <便利> <楽しい>

対象: 中心市街地に住んでいる人

課題の整理と問題・原因解決策

<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>公共交通機関の不備 →(1)バスの利便性向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ①中心地の停留所の増加 ②バスレーンの明示 ③行政がバス路線経営参画 <p>(2)タクシー利便性の向上</p> <p>(3)交通機関の連絡性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ①鉄道駅前整備 ②バスルート変更 </div>	<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>良好な住環境 →安心・便利・楽しくをモットーに</p> </div>	<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>街に活気を →今回のソーラン祭のような全国的な催しを</p> </div>	<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>まちに元気がない →住民の意識改革</p> </div>
<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>安心して歩ける道 →①完全バリアフリーの道 ②歩行者と自転車の専用道路</p> </div>	<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>緑が少ない →住宅・商店の緑化義務化</p> </div>	<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>内川が暮らしの場になっていない →内川への動線の整備</p> </div>	<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>通りがオシャレでない 目的地がない →①既存の公園を改良し本格的な都市公園に ②公共空間をオープンカフェに</p> </div>
<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>犬の散歩道、みどりの道、人の散歩道 →みどりの歩道、公園の拡張、土の歩道をつくる</p> </div>	<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>自動車の混雑 →エリア別の車乗り入れの制限</p> </div>	<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>看板等が乱雑 →看板の規制</p> </div>	<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>中心地に住むための経済的な不利 →居住費(賃貸・新築)への補助</p> </div>
<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>人の道と車の道がごっちゃませ → 動線計画</p> </div>	<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>車が多く廃ガスが悪そう →①車乗り入れ制限区域の設置 ②歩行者専用道路を増やす</p> </div>	<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>日用品店舗 →食料品の店舗に来てもらう</p> </div>	<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>中心地に食料品や日用品を扱う店がない →旧市街にスーパーが出店して成功している例がある</p> </div>
	<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>緑が少なく空気が悪そう →緑を増やす(公園を増やす街路樹を増やす、居住者の努力)</p> </div>	<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>安全 → バリアフリー 便利 → バス 楽しさ →オープンスペース、シンボル、統一性</p> </div>	
	<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>活気が少ない →人通りが多くなる仕掛けをつくる</p> </div>	<div style="background-color: #ffffcc; padding: 5px; border: 1px dashed green;"> <p>日用品店舗が少ない →食料品の店舗に来てもらう</p> </div>	



次回の予定

次回（7月14日予定）のワークショップでは、「中心市街地活性化のために自分たちは具体的に何をするのが良いか」についてグループ討議を行い、「自分たちがすること・できること」を検討していきます。